

様式例（法第 28 条第 1 項関係「前事業年度の事業報告書」）

平成 30 年度の事業報告書

平成 30 年 8 月 15 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 灯す屋

1 事業の成果

当初の目標であったホームページ及び空き家管理事業を開始することができた。

また、空き物件活用イベント「うちやま百貨店」は秋と春 2 回開催し、いずれも多くのお客様に来て頂くことができた。空き物件活用推進を目標とする「リノベーションカレッジ」を開始し、これまでにリーチしなかった層にも情報を届けられるようになった。また、空き物件を利用して学生の受け入れも行き、有田で学んでもらう機会をつくった。

移住・定住については、佐賀県庁から委託を受け、移住者の集い事業を県内 3 ヲ所で開催した。

後継者育成支援に繋がる事業として、ちやわん最中の製造を進めている。平成 30 年度は有田町からの委託もあり、製造の準備を大きく進めることができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の支出金額 (単位：千円)
① 空き物件の管理及び活用推進事業	ふるさと納税制度を利用した空き家や空き店舗の管理サービスを整備した。	—	—	904
	空き家や空き店舗を巡る見学ツアーを実施した。	(A) 9 月 1 日(土) 10:00～15:00 (B) 有田町内 (C) 4 名	(D) 空き物件所有者、活用希望者 (E) 5 人	
		(A) 10 月 13 日(土) 10:00～15:00 (B) 有田町内 (C) 4 名	(D) 空き物件所有者、活用希望者 (E) 4 人	
		(A) 11 月 10 日(土) 10:00～15:00 (B) 有田町内 (C) 4 名	(D) 空き物件所有者、活用希望者 (E) 6 人	
		(A) 12 月 15 日(土) 10:00～15:00 (B) 有田町内 (C) 4 名	(D) 空き物件所有者、活用希望者 (E) 5 人	

	(A)1月26日(土) 10:00～15:00 (B)有田町内 (C)5名	(D)空き物件所有者、活用希望者 (E)14人
	(A)2月16日(土) 15:00～16:00 (B)有田町内 (C)5名	(D)空き物件所有者、活用希望者 (E)10人
	(A)3月23日(土) 13:30～15:00 (B)有田町内 (C)4名	(D)空き物件所有者、活用希望者 (E)2人
空き物件リノベーションカレッジ(勉強会)を開催した。	(A)2月16日(土) 13:30～15:00 (B)春陽堂、続異人館 (C)5名	(D)空き物件活用希望者 (E)14人
	(A)3月15日(金) 10:00～15:00 (B)高取商店 (C)6名	(D)空き物件活用希望者 (E)10人
	(A)3月16日(土) 14:00～16:00 (B)高取商店 (C)5名	(D)空き物件活用希望者 (E)15人
空き店舗を活用したイベント(うちやま百貨店)を開催した。	(A)11月23～25日 (金～日) 10:00～17:00 (B)有田内山地区 (C)15名	(D)空き店舗所有者、出店者、町民、観光客 (E)約3000人
	(A)3月16～17日(土～日) 10:00～16:00 (B)有田内山地区 (C)8名	(D)空き店舗所有者、出店者、町民、観光客 (E)約1500人
窓口にて空き物件の相談を受けた。	(A)毎週1件 (B)春陽堂 (C)2名	(D)空き物件所有者、活用希望者 (E)30人
空き家活用に関するセミナーに登壇した。	(A)1月7日(月) (B)佐賀商工ビル (C)2名	(D)空き物件所有者、活用希望者 (E)30人

	空き物件を活用し、大学生インターンシップ事業の受け入れ及び活動支援を行った。	(A)8月～11月 (B)有田町内 (C)1人	(D)大学生 (E)8人	
②移住・定住支援事業	ホームページを整備した。	(A)9～3月 (B)委託先 (C)3名	(D)空き物件所有者、活用希望者、移住希望者、町民 (E)－	611
	佐賀県庁移住支援室からの委託を受け、移住者の集いイベントを県内にて3回実施した。	(A)1月19日(土) 15:00～22:00 (B)基山町 (C)10名	(D)移住希望者、基山町在住者 (E)14人	
		(A)2月11日(月祝) 11:30～15:00 (B)武雄市 (C)9名	(D)移住希望者、佐賀西部在住者、県内高校生 (E)22人	
		(A)3月2日(土) 11:30～17:30 (B)佐賀市 (C)10名	(D)移住希望者、県内就農者 (E)15人	
③後継者育成支援事業	「ちやわん最中復活プロジェクト」(有田町委託)を実施した。	(A)8月～11月 (B)春陽堂 (C)8人	(D)町民、観光客 (E)200人	911

## (2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	事業費の支出金額 (単位：千円)
①物品販売事業	実施しなかった。	(A)－ (B)－ (C)－	－

※定款第5条に「その他の事業」を定めていない場合は、表を削除

(備考)

- 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 2(2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。
- 「事業費の支出金額」欄は、活動計算書の「管理費」は含まない。